

8月23日(日)午前10時より12時まで夏休み学習会を開催します

8月23日に「荒川河川資料室」において、星一彰先生を講師として夏休み学習会を開催します。星先生は昭和31年に東京教育大学をご卒業後、福島県立高校の教諭に就任、福島高校、福島東高校等に勤務されました。平成6年の退職後も、福島県自然保護協会会長等の要職を歴任されています。夏休み学習会では星先生に荒川の自然について様々なお話を伺えます。多くの方のご参加を期待しております。

“fan”にご参加下さい！

ふるさとの川・荒川づくり協議会(fukushima arakawa network 略称“fan”)の設立趣旨は以下の通りです。年会費は1000円(個人会員)です。この趣旨にご賛同される方の多数のご参加を期待しています。

ふるさとの川・荒川づくり協議会設立趣旨

荒川は、東吾妻山等の山々から多量の土砂を供給して広大な扇状地を形成し、現在の生活基盤を作ってきました。

また、荒川からは多くの用水路が引かれ、私達の生活や農業に多くの恩恵をもたらし、自然環境を守ってきました。

その反面、急流河川である荒川は、古くから地域に甚大な水害ももたらしてきました。

福島市西部の開発は、この荒川の水害との闘いの歴史であり、この過程で先人達は霞堤や水防林などの防御策を講じてきました。

これらは、現在の荒川を特徴づける治水の歴史を今に伝える歴史的資源であり、また、水林自然林に代表される水防林は市民に潤いをもたらすとともに、吾妻山系を背景とした良好な景観を創り出しています。

こうした歴史的・景観的資源を大切にするとともに、荒川をより良い環境として後世に残し、真の「ふるさとの川」として愛される荒川とするために、地域住民はもとより、多くの人々が参加して荒川周辺について美しい調和のとれた川づくり、まちづくりを進めることが重要です。

そのため、これらについてみんなで意見を出し合い考える ふるさとの川・荒川づくり協議会「ふくしま荒川ネットワーク“fan”」を設立するものです。

“fan”ではスタッフを大募集しています。やる気のある方はご一報下さい。

※※ “fan”に関するお問い合わせ等は、下記までお願いいたします。※※

〒960-8601 福島市五老内町3-1 または
福島市役所 河川課 管理係
TEL. 024-535-1111 内線4152

〒960-1296 福島市松川町浅川字直道2
福島大学 教育学部 地理学教室
初沢敏生 (事務局長)
TEL/FAX 024-548-8168
e-mail hatsuzaw@educ.fukushima-u.ac.jp

FAN

ふるさとの川・荒川づくり協議会 結成！

ふるさとの川・荒川づくり協議会

(ふくしま荒川ネットワーク“fan”)

設立総会



ご挨拶

ふるさとの川・荒川づくり協議会

会長 阿部周次郎

ふるさとの川・荒川づくり協議会が設立されました。

荒川は、私の家の北側に位置し、幼少の頃から友達と一緒に仲よく毎日のように泳ぎ、魚を捕り、楽しく過ごした思い出の多い川であります。

この思い出の川・荒川の整備計画が昨年七月、関係皆様の特段のご配慮によりまして、建設省より認定されました。誠に嬉しい限りであります。

今後、皆様と共により良い荒川の環境を創り出すために、お互いに荒川に対する思い出を振り返り、今後の荒川の在り方を考え、「自然こそは神である」という自然崇拝の心情に思いを致し、それぞれの立場から知恵を出し合い、調和のとれた荒川づくりを目指していきたいと願っております。

そのためには、荒川の歴史を学び、自然が人間の生存にとって最も大切であるという原点に思いを致し、爪から血を流し、汗と泥にまみれ荒川と大自然を守り育ててくれた先住民の人達の偉大な力と、更にそれを受け継ぎ何世紀にもわたる長い間、お互いに協力し合い霞堤、水防林等を構築し、数え切れない大小の水害から農耕地や生命財産を守り、私達に限りない恩恵を与えて下さった先覚者をはじめ、祖先の皆様に感謝することを忘れず、私達の生活にとって何よりも大切な「空気と緑と水」を念頭におき、人間との共生に目をむけ、ふるさとの川・荒川に「花と小鳥とメダカを戻そう」をモットーに、